

自転車教室

3年生が6月30日に自転車教室を行いました。2週間前、雨天のために体育館で警察署の方に自転車の乗り方について教えていただきましたが、実際に屋外で自転車に乗る訓練が必要と考え、再度行うことにしました。PTAの方がボランティアで5名来てくださり、コースのポイントの指導をしていただきました。

「ブレーキコース」「ジグザグコース」「走行コース」の三つのコースをクラスごとに体験しました。「ブレーキコース」では、2m間隔に引かれた線の中をまっすぐに進み、ゴールラインで止まれるようブレーキをかけます。一直線に進むだけなので、どの児童も難なく自転車をこいでいました。



「ジグザグコース」では、3m間隔に引かれた線の間には置かれたコーンを避けながらジグザグに自転車をこぎます。ふらつきながら何とか自転車に乗っている児童もいて、ハンドルを自在に操作して自転車を走らせる技能は十分でないと思われました。



「走行コース」は、実際の道路のように交差点や横断歩道を描いたコースで、停車中の車も置いてあります。「前・後・左・右」の安全確認をした後、スタートです。信号のない交差点では、一時停止して、安全確認をして大回りで右折します。停車している車に近づくと、後方で一時停止して自転車から降りて、安全確認をしてから、押しながら車の横を通過します。横断歩道がある交差点での右折では、手前で自転車から降りて、安全確認の後、横断歩道上を引いて渡ります。渡り終わると、向きを変え、同じように安全確認をして横断歩道上を歩きます。ほとんどの児童は、自転車に乗って進むことに意識が集中して、安全確認や一旦停止などのルールを忘れてしまっていました。



今日の自転車教室だけで、3年生の子どもたちが公道で安全に自転車に乗ることは難しいでしょう。4年生以上のご家庭でも、大人がいるところで自転車に乗る練習をして、安全な運転ができるかを確認してください。

